

よくある質問（小児用）

乳歯う蝕 / 痛みのないもの・・・小さなう蝕

Q 1 むし歯を放置していたら痛みを感じなくなりました。

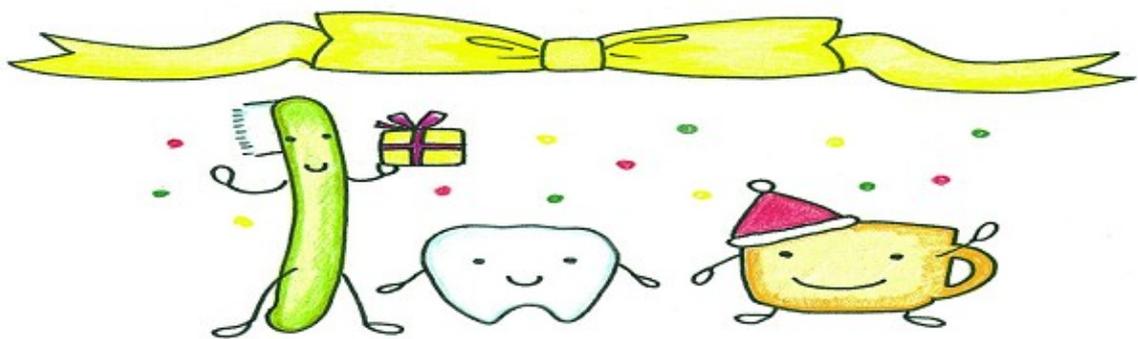
A 1 神経が死んでしまったり、急性炎症が慢性化したためでしょう。治ったわけではありませんので、早く治療が必要です。今度痛くなる時は重症化したときです。

Q 2 神経を取っても歯が痛いのはどうしてですか？

A 2 歯の痛みは、神経だけでなく歯を支えている周囲の組織にも感じます。炎症が、神経だけでなく歯を支えている周囲組織に広がっていることが考えられます。

Q 3 神経を取ったら歯はもろくなるのですか？

A 3 歯の神経には、小さな血管も含まれていて、歯に必要な栄養と水分を運び、うるおいを与えています。そのうるおいは歯の弾力を維持していますから、神経を取ると、もろくなりやすいのです。





Q 4 生えたての歯はむし歯になりやすいのですか？

A 4 生えたての歯は、歯の表面のエナメル質の成熟度が十分ではありません。そのためむし歯菌がつくる酸に対する抵抗力が少なく、むし歯になりやすいのです。フッ化物を塗ると、歯の表面のエナメル質の成熟が助けられて、むし歯になりにくくなります。

Q 5 むし歯が自然に治ることはないのでしょうか？

A 5 大きく穴のあいたむし歯が自然にもと通りになることはありません。しかし、歯の表面が少し白くなったぐらいの軽い初期のむし歯は、管理次第で治るとされています。

Q 6 むし歯に詰めるものは、金属と白いプラスチックとではどう違いますか？

A 6 歯の色に近い樹脂は、金属と違って目立ちませんが、強さの点で金属にやや劣ります。しかし、四方を歯に囲まれたところに詰めるときや、噛む力があまり加わらないところではプラスチック樹脂でも十分です。最近の材料は、色と強度という点で改良されています。

Q 7 歯はあまり削らないほうがいいのですか？

A 7 従来は詰めものがはずれにくいように、あるいはむし歯が広がらないようにという考えから、むし歯になっていないところまで含めて削っていました。しかし、最近の考え方は、むし歯のために歯を削るのは必要最小限とされています。

